

兵庫県

老舗の伝統を守りながら新たなイメージを伝えるための勉強会を開催

支援概要

■支援の経緯

K市のM商店街は歴史が深く、100年以上続く店舗が多いのが特徴である。老舗の伝統を守りながらも顧客のニーズに合わせた新たなイメージを打ち出す方法を多くの店舗が模索しているが、その手立てとして専門家によるブランディングの手法を組合員へセミナー形式で教えて頂きたいと考えている。今回講師を依頼したY氏はプロダクトデザイナーやアートディレクターという経歴を持ち、複数の店舗を展開する若手クリエイターである。商品開発から流通までのトータルブランディングを得意とする同氏に、現代のマーケティング手法の事例を通して、ブランディングの手法を教えてもらいたい。

■専門家による具体的な支援内容

ブランディングの勉強会には15名の組合員が参加。

「ブランドって何？ 魅せ方の極意教えます～あなたの商品を売るために必要な10のこと～」というタイトルで、組合員ひとりひとりが実践でき、初学者でも理解できるブランディングの方法論を解説した。また商店街全体としてのブランディングの重要性について具体的な事例をもとに説明。

その後、K商店街連合会の基本コンセプトをグループワークという形で話し合い、参加者全員の認識を共有することができた。

支援の効果

セミナー後、商店街としてブランディングを意識した街頭灯バナーを製作することを決定するなど具体的アクションにつながる動きが出ている。

今回のセミナーを契機に商店街としての結束を強め、M商店街らしさを磨いていきたい。



専門家の声

個々の商店の発展が、商店街全体の活性化につながるので、これからもこのようなセミナーを開き、ブランディングに磨きをかけていきたい。

商店街の全長1.2kmにわたり、170本のバナーが並んだ様が非常に楽しみである。

団体の声

事例の紹介や理論に裏打ちされた説明があり、非常に理解しやすい内容でした。今後検討していくバナー制作へのブランディングの在り方も説得力があり、満足度が高い勉強会となりました。新しいイメージを打ち出すためのオリジナリティあるバナー掲載をできるだけ早く実施したいと考えています。